

水産技術センター・研究課題事前評価表  
水産技術センター評価委員会（2008. 9. 30）

試験・研究課題名： バイテク魚の養殖特性に関する研究

大 課 題 名： 新養殖魚種開発研究

小 課 題 名： 種苗生産技術開発試験

細目課題名： バイテク魚の養殖特性に関する研究

担 当 者 名： 研究管理幹 高橋一孝

評 価 項 目	評価点	指 摘 事 項
1 課題設定の必要性 (背景、社会的ニーズ)	4. 5 / 5	新たな山梨県産のブランド開発という点において、消費者、生産者にとって期待できる研究課題である。
2 課題の新規性、独創性	4 / 5	バイテク魚の開発については、他県でも先行的に実施されているものである。ただし、新たな魚種開発という点においては評価できる。
3 目的・内容の整合性、 妥当性	5 / 5	国内におけるマスの主要生産地として、内水面漁業及び消費の拡充をさらに図るものとして、目的は妥当である。
4 研究手法の的確性、 技術的可能性	4 / 5	新たな魚種開発ということで、先行研究も少なく、技術的には未知な点が多い。本魚種に関して新たな養殖技術の開発がなされることに期待する。
5 成果の期待度	5 / 5	大型、美味の魚種開発は、市場におけるニーズも高く、期待は大きい。
総合評価	4. 5 / 5	県産ブランドの生産、消費拡大につながる研究である。肉質面だけでなく、耐病性についても十分検討していただきたい。

「注」 評価点の目安

評価 点数	高い	やや高い	普通	やや低い	低い
	5	4	3	2	1

試験研究機関の処置

今後、バイテク魚の生残率・成長・妊性・食味・耐病性等を研究し、新たな養殖魚を創作できるよう検討していきたい。